

みずほCustomer Desk Report 2018/07/26 号(As of 2018/07/25)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.31
TKY 9:00AM	111.27	1.1685	130.04	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.38	1.1738	130.25	1.3148	0.7426
SYD-NY Low	110.67	1.1664	129.41	1.3200	0.7464
NY 5:00 PM	110.97	1.1728	130.13	1.3134	0.7392
				1.3195	0.7456
NY DOW	25,414.10	172.16	日本2年債	-0.1300	▲1.00bp
NASDAQ	7,932.24	91.47	日本10年債	0.0600	▲2.00bp
S&P	2,846.07	25.67	米国2年債	2.6714	3.63bp
日経平均	22,614.25	103.77	米国5年債	2.8471	2.67bp
TOPIX	1,753.48	6.62	米国10年債	2.9718	2.23bp
シカゴ日経先物	22,580.00	0.00	独10年債	0.3925	▲0.20bp
ロンドンFT	7,658.26	▲50.79	英10年債	1.2715	▲0.25bp
DAX	12,579.33	▲110.06	豪10年債	2.6830	▲2.90bp
ハンセン指数	28,920.90	258.33	USDJPY 1M Vol	7.33	▲0.28%
上海総合	2,903.65	▲1.92	USDJPY 3M Vol	7.58	▲0.18%
NY金	1,224.60	▲0.90	USDJPY 6M Vol	7.83	▲0.15%
WTI	68.66	0.14	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	194.66	1.47	EURJPY 3M Vol	7.93	▲0.12%
ドルインデックス	94.36	▲0.25	EURJPY 6M Vol	8.35	▲0.10%

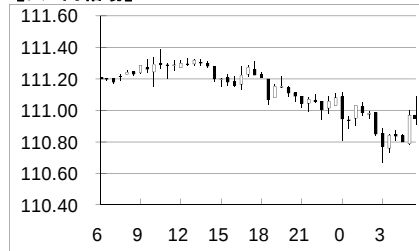
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月25日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	2Q 0.4%/2.1%	0.5%/2.2%
	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 101.7	101.5
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 631k	668k

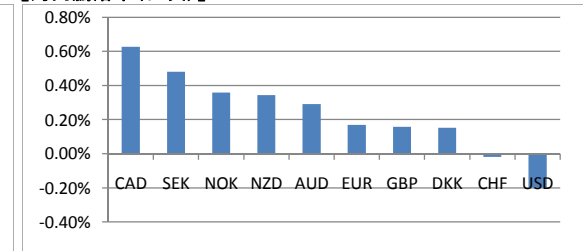
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月26日	20:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)	6月 0.3%	0.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	207k
	21:30	米 耐久財受注(前月比)	6月 3.0%	-0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20—111.50	1.1670—1.1780	129.30—130.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は軟調推移。対EM通貨でドル売りが先行するとドル円も111円割れ。「自動車関税は今年発動」との米紙報道にくわえ、「日銀によるETF購入配分見直し」との日経報道に円買いが強まると、ドル円は一時、110.67円まで下押しした。その後、米欧貿易緊張緩和を受けて値を切り返すも戻りは鈍かった。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。米欧間では貿易緊張緩和で合意に至ったものの、米国の保護主義政策への警戒感依然として燃っており、また、月末に控える日銀金融政策決定会合に関する事前報道を見るに円売り地合とはなりにくいと考える。上がったところは戻り売りが被さってくるような上値の重い展開を予想する。

アジア	東京時間のドル円は111.27レベルでオープンすると、高く寄り付いた日経平均株価が下落する中、111.15まで下落。本邦実需勢による五・十日のドル買いとみられるフローや、日本株の買戻しを受けて111.38まで反発するが、本日海外時間に米欧首脳会談を控えて上値も重く、全般的に小動き。111.18レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.18レベルでオープン。アジア時間の流れを継続し小幅なレンジでの推移となり、111.05でNYに渡った。ユーロドルは、1.1689でオープン。独IFO業況指数が予想対比上振れしたことを受けて買われ1.1705まで堅調。しかしその後1.1681まで反落し、1.1696レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3154レベルでオープン。特段材料がない中、他通貨の動きに連れられながら終日推移し、1.3162レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	人民元の下落が一旦止まったためドル売りが優勢となり、海外市場のドル円は上値を切り下げ、111.02まで下落し、111.05レベルでNYオープン。NY朝方はトランプ大統領とユンケルEU委員長の通商会談結果を控え、様子眺めから方向感の無い推移が続くが、米紙がトランプ大統領のアドバイザーの語として「約2000億ドルの自動車関税が年内にも発動される可能性も」と報じたことからリスク回避の円買いが強まった。その後は111円ちょうど付近での推移が暫く続くが、NY午後に入り「日銀がETFの購入配分を見直しへ、副作用に配慮」とのヘッドラインを受け、ドル円は安値110.67まで下落。NY終盤にかけては、「欧州が工業製品関税を下げ、もっと大豆を米国から輸入することで合意」との報道を受け、横ばい付近で推移していた株式市場が急伸する展開に円売りが強まり、ドル円は111.09まで戻すが上値は限定的となり、110.97レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1696レベルでNYオープン。NY朝方は1.1712まで戻す局面もあったものの、前述の2000億ドルの自動車関税の報道を受け、リスク回避の動きにユーロ円が急落する展開を受けユーロドルも連れて安値1.1664まで下落。NY午後に入り前述の日銀の報道を受けドル円が下落する動きに、ユーロドルは再び1.1712まで反発。NY終盤に掛けては、トランプ大統領とユンケルEU委員長の会談では貿易戦争が回避される内容となったことを好感し、ユーロドルは1.1738まで戻し、1.1728レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・田家